



住宅部会長

後藤 裕司

トヨタホーム株式会社
代表取締役社長

2021年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素より当協会及び住宅部会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染症患者が確認された後、新型コロナウイルスに明け暮れた一年となりました。同感染症により、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、昨年多発した集中豪雨その他の自然災害により被災された方々、お亡くなりになられた方々には、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

同感染症の影響で、春先には中国製部材の供給が止まり、4月には緊急事態宣言で住宅展示場が閉鎖され、11月からの第3波では医療崩壊の危機に直面したなか、ワクチン開発成功の報も続きました。政府は全国民に無料でワクチン接種する方針と聞いており、本年の中頃には感染不安も払拭できるのではないかと期待しております。

新型コロナウイルス感染症は、経済にも大打撃を与えました。2020年4~6月のGDPは年率換算29.2%減とリーマンショック直後を上回る戦後最悪の落ち込みとなり、日銀が大幅な金融緩和策を発動するとともに、政府が12月に追加経済対策などを盛り込んだ第3次補正予算案を決定し、本年度一般会計の歳出額は昨年度を大きく上回る175兆円となりました。内需の柱である住宅についても、7~9月期の民間住宅投資は前期比年率換算21.2%減と大幅な落ち込みとなりましたが、関係各位のご努力のお陰で、住宅ローン減税・住宅贈与税非課税枠が延長され、最高100万円分のグリーン住宅ポイント制度の創設とZEH補助金の増額が決定されました。我々住宅業界としては、これらの住宅支援策をフルに活用して内需を盛り上げていきたいと考えております。

さらに、同感染症は日本の社会経済構造の変革も促しました。非対面・非接触をキーワードとして、住宅分野でも営業のデジタル化が大きく進展しました。政府も建築士の重要事項説明のIT化、押印廃止、デジタル庁設置などを推進し、デジタル

化をキーワードに生産性向上を一挙に進める方針を打ち出しております。産業界全体でもDX（デジタル・トランスフォーメーション）による生産性向上は大きなテーマです。

デジタル化と並んで政府が打ち出した成長戦略の柱は、グリーン化です。菅総理は、11月の臨時国会冒頭で2050年までにカーボンニュートラル達成を宣言しました。日本はこれまで、2030年度に2013年度比で温室効果ガスを26%削減することを国際公約し、家庭部門では39%削減の目安を掲げてきましたが、さらに高い目標の長期のアクションプランが策定されるでしょう。温暖化に起因する自然災害の激甚化は明らかであり、住宅業界としても政府の支援も得て、新築住宅のZEH化推進とともに既存住宅の省エネ化にもさらに精力的に取り組むことが求められます。グリーン化は、世界的に意識が高まっているSDGsやESG投資という観点から重要性が高まっているのはもちろん、断熱性能に優れた住宅はヒートショックや高血圧の予防などの効果も認められており、健康寿命の延伸と社会保険料増大の抑止効果も期待できるため、社会的意義も高いものと考えております。

また、本年3月には5年毎に見直される住生活基本計画の閣議決定も予定されております。11月の中間とりまとめでは、現行の住生活基本計画が3つの視点と8つの目標であったものから、3つの視点と12の目標に改められました。特に注目すべきは、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてテレワークの普及や二地域居住を意識した「柔軟な働き方や新技術の活用による新しい住まい方の実現」と、災害の激甚化を受けて「将来にわたって災害に強い居住空間の実現」という目標が明記されたことです。併せて、長期優良住宅と住宅瑕疵担保履行制度の見直しも同時に進められることとなります。

このように大きな変化がいくつも重なるなか、本年は、5年毎に見直される「住生活向上推進プラン」と、10年毎に見直される環境行動計画「エコアクション」の改定年でもあります。住宅部会では、これまで、長期優良住宅やZEHの普及促進、生産・輸送・施工、及び居住段階のCO2排出量削減に取り組むほか、会員各社とも災害の多発化を受けてレジリエンス機能を強化した住宅の開発や新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて新しい住まい方の提案などを進めてきました。デジタル化の推進やSDGsの観点も含めて、これらのテーマを明示的に「住生活向上推進プラン」や「エコアクション」にも盛り込む方向です。

住宅部会は、これらの活動を通じて、今後とも、住宅業界の発展延いては「国民経済の繁栄」と「国民生活の向上」に寄与していく所存でございます。皆様の一層のご支援とご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご発展とご健勝を衷心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。